

**令和7年度広島県海外スタートアップ等連携実証プロジェクト創出業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年3月17日（月） 09時15分から11時45分まで
2	場 所	広島県庁本館 502 会議室
3	出席委員	・ 空田 賢治（広島県商工労働局新産業創出担当部長） ・ 岡部 光利（独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）広島貿易情報センター 所長） ・ 長谷川 充（公益財団法人ひろしま産業振興機構 常務理事） ・ 栗栖 常吉（広島県商工労働局県内投資促進課長） ・ 増廣 浩二（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（環境エネルギー産業集積促進））
4	議 題	令和7年度広島県海外スタートアップ等連携実証プロジェクト創出業務の公募型プロポーザル審査
5	担当部署	広島県商工労働局イノベーション推進チーム
6	開催方法	参集
7	議事内容	提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得たB社（フォースタートアップス株式会社）を最優秀提案者として決定した。 提案者ごとの主な評価・選定理由 【A社：株式会社かいほつマネジメント・コンサルティング】 ＜プログラムの内容＞ ・ グローバルサウスを対象とすることにより、東南アジアに偏っていた本事業の新たな展開が期待できると評価された。 ＜支援対象企業の募集＞ ・ JICA以外のネットワークが弱く、県内企業へのアプローチや企業確保に不安が残ると評価された。 ＜支援対象企業への海外スタートアップ等との連携による新事業提案＞ ・ アフリカ、中南米ともに主要国の実績がやや欠けると評価された。 ＜選定企業へのハンズオン支援＞ ・ 補助金の活用を重視しているが、それが前提ではビジネス化に不安があると評価された。 ＜総括＞ ・ 海外の企業情報の収集能力等に不安があり、現地の課題感等に合ったビジネスマッチングになるか疑問があると評価された。 【B社：フォースタートアップス株式会社】 ＜プログラムの内容＞ ・ インドに特化した事業展開は魅力的であり、スケール案件が期待できると評価された。 ＜支援対象企業の募集＞ ・ 協力団体との関係性があり、これまで届かなかった企業の応募が期待できると評価された。

	<u>＜支援対象企業への海外スタートアップ等との連携による新事業提案＞</u> ・ 現地パートナーとの関係も構築されており、現地での支援が期待できると評価された。 <u>＜予算及び経費内訳＞</u> ・ 企業への渡航費補助は不要に思える、そこを負担してでもやってみたいと企業に思わせることが重要と評価された。 <u>＜総括＞</u> ・ インドにターゲットを絞った戦略とインドのパートナー企業との協業に大きな可能性があるとは評価された。 【C社：株式会社リバネス】 <u>＜プログラムの内容＞</u> ・ 過年度と比べてあまり工夫点が感じられず、やや具体性に乏しいと評価された。 <u>＜支援対象企業の募集＞</u> ・ 新規を含め多くの県内企業に周知、募集活動には不安があると評価された。 <u>＜支援対象企業への海外スタートアップ等との連携による新事業提案＞</u> ・ 県内企業のアセットと現地課題から企業に何ができるかを考えさせる手法は効果的であると評価された。 <u>＜イベント及び選定企業向け交流会の開催＞</u> ・ イベントへの集客力に不安があり、横展開への工夫がほしいと評価された。 <u>＜総括＞</u> ・ これまでの実績もあり、安心感はあるものの、対象国も変わらず、大きな工夫も見られないため、事業そのものがマンネリ化する懸念があると評価された。
--	--